

日本経営システム学会誌レフェリーのガイドライン

日本経営システム学会誌は、経営システムに関する領域における理論ならびに方法論の発展および普及のために、会員の独創的な研究ならびに実践の場における技術成果をレフェリーの上採録掲載する。

論文の評価は以下に示される新規性、有用性、適性に基づいて行う。

1. 新規性；経営システムの領域からみて

- (1) 問題設定、適応領域の新しさ
- (2) 発見、知見、事例の新しさ
- (3) 理論、実験方法、手法、調査法の新しさ
- (4) 要素、システム、用途、サービスの新しさ
- (5) 評価法、調査結果、デザインの.newしさ

2. 有用性；経営システムの領域からみて

- (1) 学術、技術、社会的課題に役立っている
- (2) 実用化、改良、改善上の成果がある
- (3) 技術移転、波及効果、啓発効果がある
- (4) 理論や方法の拡張、体系化、視点の転換の成果がある
- (5) 利用効果、導入過程、実態調査に有用である

3. 適性；以下の要件を満たし、論文として完結していること

- (1) 内容に誤りやあいまい性がない
- (2) 研究目的が明確に述べられている
- (3) 論旨の展開が明確である
- (4) 研究成果の意義が明確に述べられている
- (5) 従来研究との関連が明確に述べられている
- (6) 関連する文献が適切に引用されている
- (7) 図表、文体が簡潔かつわかりやすい
- (8) 実験条件、方法が明確に述べられている
- (9) 経営システム領域との関連が深く重要度が高い
- (10) 将来性の期待される研究である

年 月 日

レフェリー結果記録

1. 題 名 _____

2. 編集委員会宛のご意見があればお書き下さい。

3. この論文が「学会賞」、「論文奨励賞」候補として推薦にふさわしい論文とお考えのときは、そのこともお書き添え下さい。

(上記判断の理由・意見)

レフェリー

(所属)

(氏名)

日本経営システム学会
〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3
バラードハイム 703
TEL : 03-3371-5324
FAX : 03-3371-5185

論文の評価 (該当する項目の□にV印をつけて下さい)

- | | はい | いいえ | どちらとも
いえない |
|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 1. 新規性；経営システムの領域からみて | | | |
| (1) 問題設定、適応領域の新しさがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) 発見、知見、事例の新しさがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) 理論、実験方法、手法、調査法の新しさがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) 要素、システム、用途、サービスの新しさがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) 評価法、調査結果、デザインの新しさがある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 2. 有用性；経営システムの領域からみて | | | |
| (1) 学術、技術、社会的課題に込えている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) 実用化、改良、改善上の成果がある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) 技術移転、波及効果、啓発効果がある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) 理論や方法の拡張、体系化、視点の転換の成果がある。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) 利用効果、導入過程、実態調査に有用である。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 3. 適性；以下の要件を満たし、論文として完結していること | | | |
| (1) 内容に誤りやあいまい性がない。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (2) 研究目的が明確に述べられている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (3) 論旨の展開が明確である。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (4) 研究成果の意義が明確に述べられている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (5) 従来研究との関連が明確に述べられている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (6) 関連する文献が適切に引用されている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (7) 図表、文体が簡潔かつわかりやすい。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (8) 実験条件、方法が明確に述べられている。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (9) 経営システム領域との関連が深く重要度が高い。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| (10) 将来性の期待される研究である。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

レフェリー結果

日本経営システム学会誌掲載の適否(該当する箇所に○印をつけて下さい)

- (1) このまま掲載して良い。(判定A)
 - (2) 部分的な修正・加筆をすれば掲載して良い。(判定B)
 - (3) 部分的な修正・加筆の上、再度審査を要する。(判定C)
 - (4) 掲載に適していない。(判定D)
 - (5) 研究ノートまたは事例研究・解説ならば掲載して良い。(判定E)
- 該当する項目に○印をおつけ下さい(研究ノート・事例研究・解説)
- (6) 他の査読者に回送を希望する(論文内容がご専門と違うとか、ご都合によりお引き受けいただけない場合は直ちに編集委員会にご返送下さい)。
[代わりに 氏を推薦する。]

レフェリー所見（2）

論文についての疑問・不明・修正の箇所（ページ、行など、もしくは図表番号を明示し、できるだけ具体的なコメントを記入してください。（ワードプロセッサまたは黒インクでご記入願います。）「レフェリー所見」はそのまま執筆者におくられます。